



日本曹達株式会社

証券コード:4041

かがくで、
かがやく。

第156期 年次報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

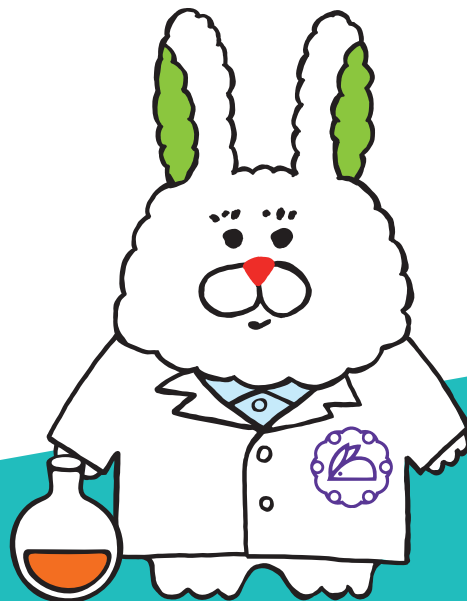


トピックス

日本曹達グループ長期ビジョン
「かがくで、かがやく。2030」の
進捗状況と今後の取り組み

セルローステクニカルアプリケーションセンター
ヨーロッパ(NISSO CTAC EU)開設

日本曹達グループ公式キャラクター
「そだまる」が誕生しました



日本曹達グループ公式キャラクター
「そだまる」



株主の皆様には格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
第156期の年次報告書をお届けするにあたり、
一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 阿賀英司

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下振れ懸念や地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、長期経営ビジョン（2021年3月期～2030年3月期）および中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を推進し、企業価値の向上に向けた諸施策に全力で取り組みました。

当連結会計年度は、アグリビジネスにおいて流通在庫の適正化を図るために輸出向け販売の出荷調整を行ったものの、ケミカルマテリアルの販売やエンジニアリングのプラント建設工事が堅調に推移したことなどにより、売上高は1,551億9千9百万円（前年度並み）、営業利益は160億6千3百万円（前年度比15.8%増）となりました。

経常利益は、持分法による投資利益が減少したことや、前年度において為替差益を計上したことなどにより、195億2千9百万円（前年度比16.2%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、150億1千1百万円（前年度比9.6%減）となりました。

また、配当につきましては、当社は新たに定めた株主還元方針において、累進配当方針を導入するとともに、総還元性向50%以上を株主還元の数値目標としております。当事業年度の業績が堅調に推移したことから、上記の数値目標に基づき、当期の期末配当は、1株につき20円の増配を実施し80円とさせていただきます。

と存じます。なお、当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。当社は株式分割前の2024年9月30日を基準日として1株につき120円の間配当金をお支払いしておりますので、当事業年度の年間配当金は、株式分割後に換算しますと中間配当金60円と合わせ、1株につき140円となります。

今後の見通しにつきましては、経済活動は緩やかな回復基調にあるものの、主要国における通商政策の変更や地政学的リスク、および為替相場の変動などにより、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

このような経営環境の中、中期経営計画の最終年度である2026年3月期における数値目標の達成は厳しい状況であります。当社グループといたしましては、引き続き最大限の努力を払うとともに、2025年5月14日に公表いたしました『長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」KPIの見直しと新たな資本政策の導入に関するお知らせ』に基づき、企業価値の向上に向けた諸施策を実行してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高1,480億円、営業利益132億円、経常利益168億円、親会社株主に帰属する当期純利益133億円を予測しており、配当金につきましては、当期と同額の1株につき140円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

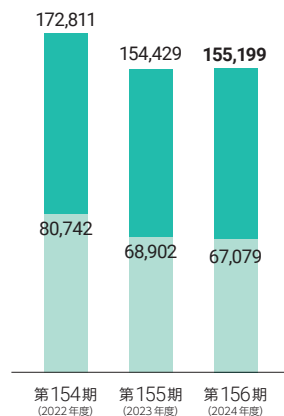
科目	第154期		第155期		第156期	
	中間	通期	中間	通期	中間	通期
売上高 (百万円)	80,742	172,811	68,902	154,429	67,079	155,199
営業利益 (百万円)	8,975	16,893	6,458	13,872	7,077	16,063
経常利益 (百万円)	13,973	26,456	9,292	23,297	8,364	19,529
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益 (百万円)	8,889	16,692	7,540	16,612	6,346	15,011
総資産 (百万円)	252,190	251,350	263,222	290,492	282,596	288,097
純資産 (百万円)	167,972	170,959	182,219	189,474	190,439	188,102
自己資本比率 (%)	65.6	67.3	68.6	64.7	66.9	64.8
1株当たり 当期(中間)純利益 (円)	159.47	299.39	135.20	298.71	115.24	272.56
1株当たり配当金 (円)	45	120 (期末75)	60	120 (期末60)	60	140 (期末80)

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

「1株当たり当期(中間)純利益」および「1株当たり配当金」は、第154期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

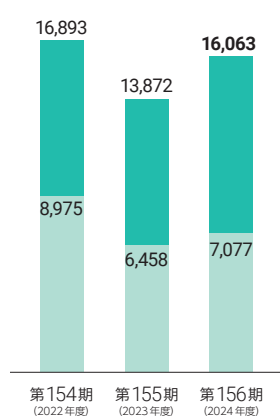
売上高

■ 通期 ■ 中間期 単位：百万円



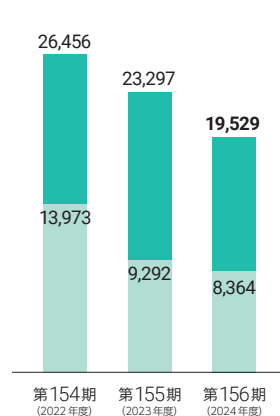
営業利益

■ 通期 ■ 中間期 単位：百万円



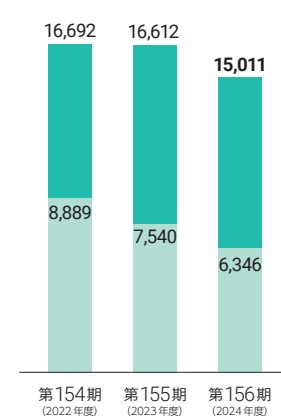
経常利益

■ 通期 ■ 中間期 単位：百万円



親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益

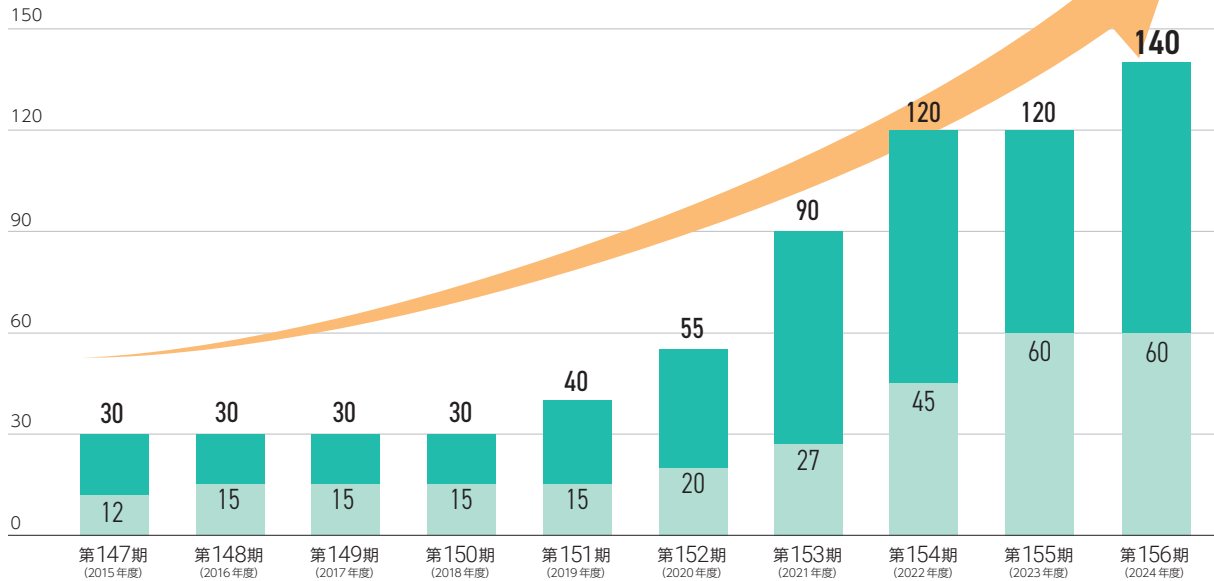
■ 通期 ■ 中間期 単位：百万円



配当金の推移

配当金の推移

■ 年間 ■ 中間期 単位：円



※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

第156期中間配当以前の配当額につきましては、第147期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した金額を記載しております。

第147期から第150期中間配当の配当額につきましては、2018年10月1日付で実施した株式併合（普通株式5株を1株に併合）についても遡及修正しております。

※1円以下は切り捨てて算出しております。

配当政策

当社は剰余金の処分に関して、基本的に収益動向を踏まえ、安定配当の維持、株主資本の充実、財務体質の改善等の観点から総合的に判断したいと考えております。内部留保資金は、高付加価値製品開発および競争力強化のための研究開発投資や設備投資、M&A等に充当することとしております。

また、新たに定めた株主還元方針において、累進配当方針を導入するとともに、総還元性向50%以上を株主還元の数値目標としております。

セグメント別概況

エコソリューションセグメントにおいて、利益の管理区分の変更により、従来「ケミカルマテリアル」「調整額」に含まれていた日曹金属化学株式会社に関連する項目を「エコソリューション」に含めております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。



ケミカルマテリアル



工業薬品は減少したものの、化成品や医薬品・工業用殺菌剤、および機能材料が増加しました。この結果、当連結会計年度の売上高は364億4千2百万円（前年度比1.1%増）、営業利益は60億7千4百万円（前年度比97.0%増）となりました。

工業薬品は、塩化燐が増加したものの、青化ソーダやカセイソーダが減少したことにより、減収となりました。

化成品は、非フェノール系感熱紙用顔色剤が伸長したことにより、増収となりました。

機能材料は、樹脂添加剤「NISSO-PB」が伸長したことにより、増収となりました。

エコケア製品は、前年度並みとなりました。

医薬品・工業用殺菌剤は、医薬品添加剤「NISSO HPC」が伸長したことにより、増収となりました。

売上高

単位：百万円

第155期
(2023年度) 36,063

第156期
(2024年度) 36,442

営業利益

単位：百万円

第155期
(2023年度) 3,083

第156期
(2024年度) 6,074



アグリビジネス



流通在庫の適正化を図るために輸出向け販売の出荷調整を行ったことや、海外市場での販売価格が下落したことにより、殺虫剤・殺ダニ剤の輸出向けが減少しました。この結果、当連結会計年度の売上高は535億8千8百万円（前年度比1.0%増）、営業利益は51億1千5百万円（前年度比23.4%減）となりました。

殺菌剤は、「トップジンM」の輸出向けが減少したものの、「ピシロック」・「パンチョ」の輸出向けが増加したことなどにより、増収となりました。

殺虫剤・殺ダニ剤は、殺ダニ剤「ニッソラン」の輸出向けが増加したものの、殺虫剤「モスピラン」の輸出向けが減少したことなどにより、減収となりました。

除草剤は、「コンクールド」が増加し、増収となりました。

売上高

単位：百万円

第155期
(2023年度) 53,040

第156期
(2024年度) 53,588

営業利益

単位：百万円

第155期
(2023年度) 6,674

第156期
(2024年度) 5,115



トレーディング&ロジスティクス

各種有機・無機薬品などの販売が減少したものの、樹脂原料などの販売が増加したことにより、当連結会計年度の売上高は428億1千8百万円（前年度比4.7%増）、営業利益は24億1千7百万円（前年度比12.7%増）となりました。

売上高	単位：百万円	営業利益	単位：百万円
第155期 (2023年度)	40,898	第155期 (2023年度)	2,145
第156期 (2024年度)	42,818	第156期 (2024年度)	2,417



エンジニアリング

プラント建設工事の収益性が大幅に向上したことにより、当連結会計年度の売上高は131億3千8百万円（前年度比19.6%減）、営業利益は23億6千8百万円（前年度比37.2%増）となりました。

売上高	単位：百万円	営業利益	単位：百万円
第155期 (2023年度)	16,336	第155期 (2023年度)	1,726
第156期 (2024年度)	13,138	第156期 (2024年度)	2,368



エコソリューション

非鉄金属やリサイクル硫酸類が堅調に推移したものの、廃棄物処理が低調に推移したことにより、当連結会計年度の売上高は92億1千2百万円（前年度比13.9%増）、営業利益は9千9百万円（前年度比39.6%減）となりました。

売上高	単位：百万円	営業利益	単位：百万円
第155期 (2023年度)	8,090	第155期 (2023年度)	164
第156期 (2024年度)	9,212	第156期 (2024年度)	99

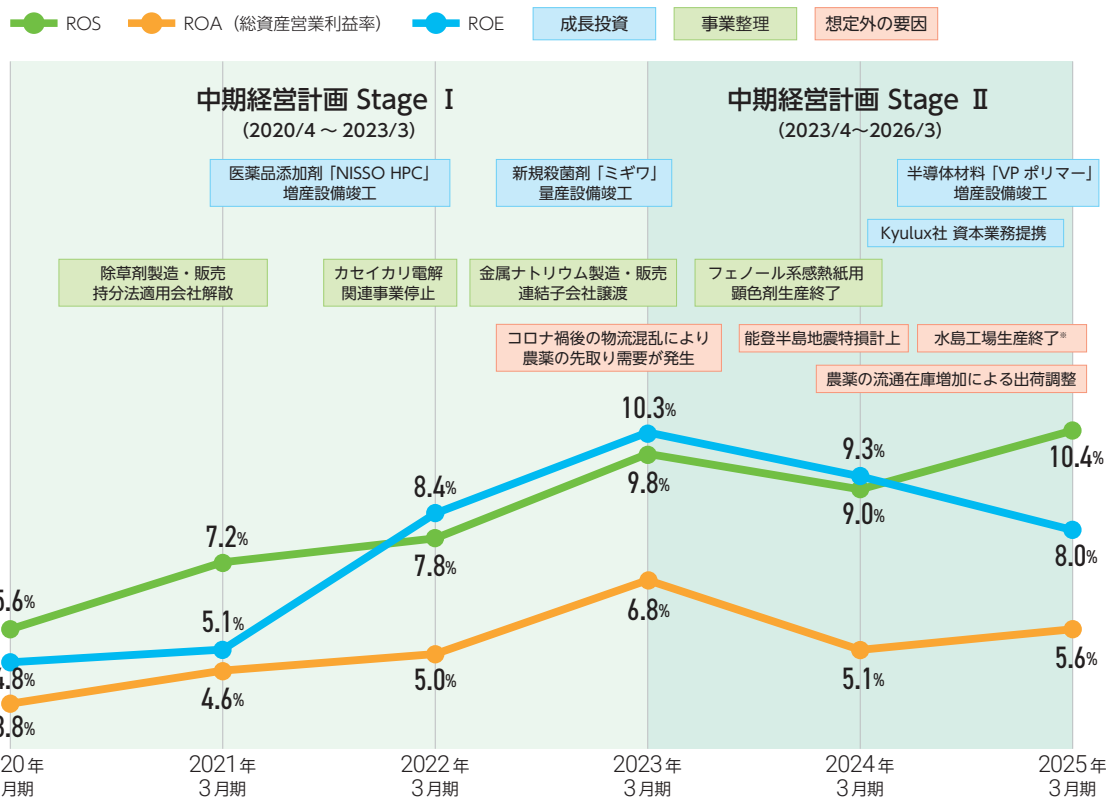
トピックス — 日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」の進捗状況と今後の取り組み

当社は、2025年5月14日に『長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 KPIの見直しと新たな資本政策の導入に関するお知らせ』を公表し、前半5年間の進捗状況と今後5年間の取り組みをお知らせいたしました。それぞれの概要につきましては次のとおりです。その詳細につきましては当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧くださいませようお願い申し上げます。

https://www.nippon-soda.co.jp/whats_new.html

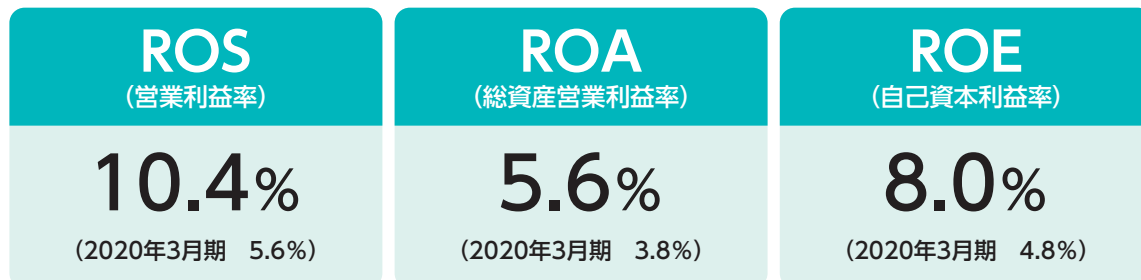
日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 前半5年間の進捗状況

- 成長ドライバー事業が拡大、不採算事業の整理を含む事業ポートフォリオ変革を推進。
- キャッシュフロー創出力を高める成長投資が計画通りに進捗。
- 増配を実施、自己株式の取得を機動的に実施。



* 原材料の調達に困難になったため、生産継続を断念し、工場の閉鎖を決定。

長期ビジョンKPIの進捗状況 (2025年3月期)



▶ ROS

- 高付加価値事業の拡大と不採算事業の整理を推進
成長ドライバー事業が拡大、カセイカリ電解関連事業を停止
- 事業ポートフォリオ変革により、利益率が向上
金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の全株式を譲渡

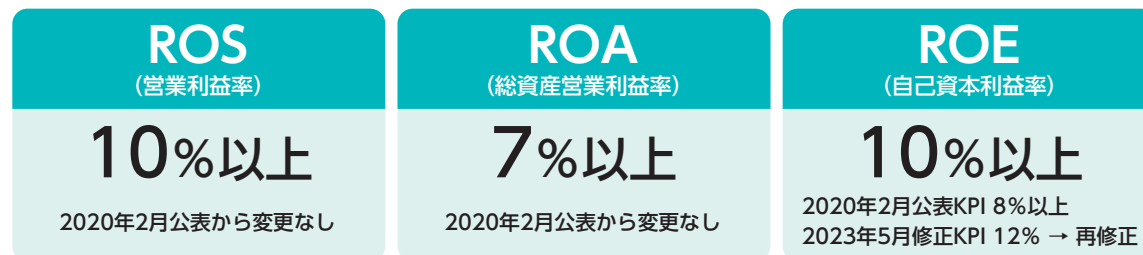
▶ ROA、ROE

- 事業ポートフォリオ変革による資産入れ替えを推進
成長投資を推進
金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の全株式を譲渡
- 政策保有株式の整理を継続的に実施(2019年3月期 52銘柄 → 2025年3月期 25銘柄)
- 棚卸資産回転率が低下(2020年3月期 3.7回転 → 2025年3月期 2.1回転)
調達や物流の不確実性により、原材料を積み増し
水島工場の生産終了に伴い、製品在庫を一時的に積み増し
- 成長投資により、建設仮勘定が増加(2025年3月期 122億円)
- 関係会社株式が増加(2020年3月期 169億円 → 2025年3月期 314億円)
持分法適用関連会社 IHARABRAS社(剰余金の資本金への振替、為替換算調整)
- 退職給付に係る資産が増加(2020年3月期 78億円 → 2025年3月期 145億円)
確定給付企業年金(DB)の資産運用が好調

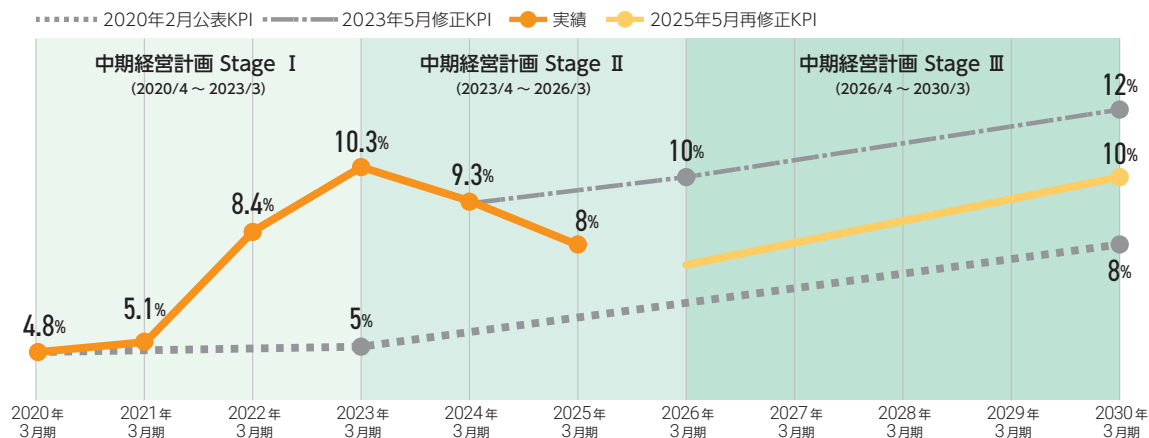
日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

- 前半5年間ににおける事業ポートフォリオ変革により収益性は着実に向上、今後5年間ににおける新規事業創出も着実に進捗中。
- コロナ禍以降の経営環境の変化を踏まえ、KPIのうちROEを修正（営業利益をベースとするKPIは変更なし）。
- KPIの達成に向けて新たな資本政策を導入、PBR1倍超の早期実現を目指す。

2030年3月期KPI（2025年5月一部修正）



ROE推移

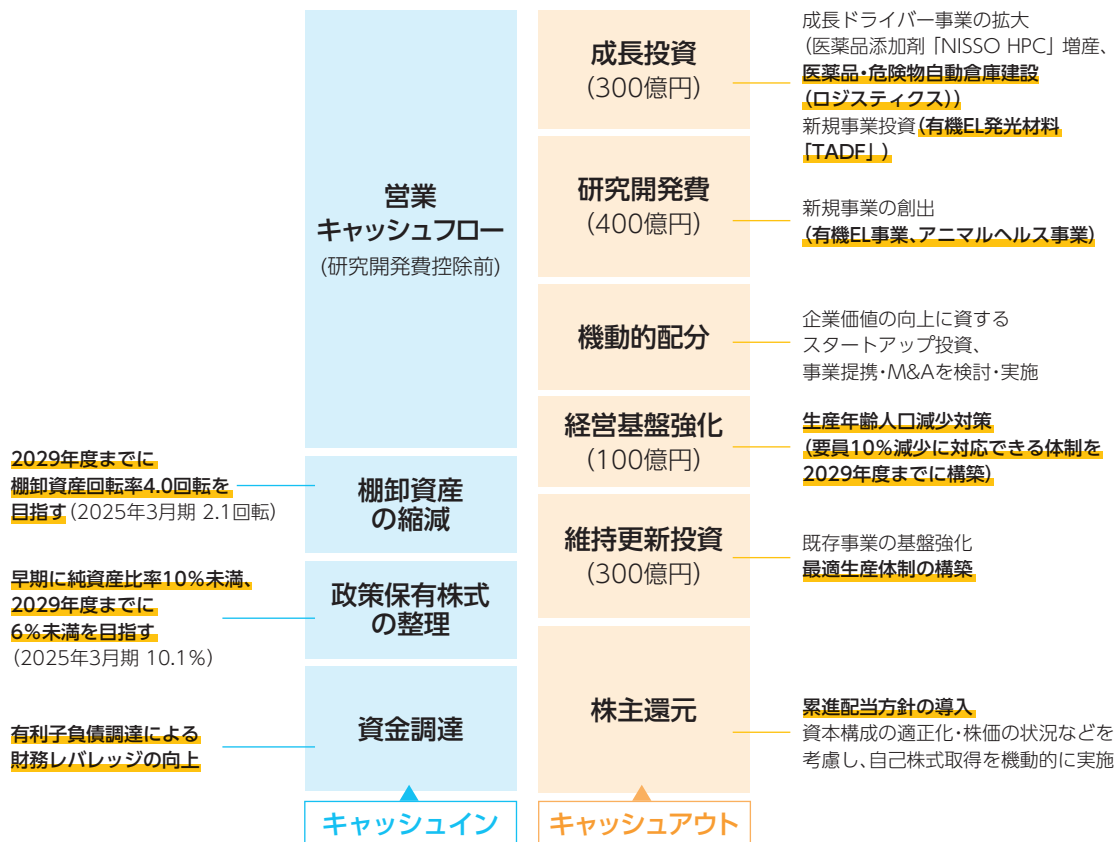


コロナ禍以降の事業環境の変化や、地政学的リスクによる不確実性の拡大など、当社グループを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、2030年3月期のROEを“10%以上”に再修正。

- 高付加価値事業の拡大と徹底した経営の効率化により、事業環境の変化に強く、安定した収益を生み出す体質に変革する。
- 新規事業により、新たな価値創出を図る。
- 成長投資と株主還元により資本効率を高め、企業価値向上と株主価値向上を図る。

キャピタルアロケーション (2025年度～2029年度の5年間累計)

■ 部分は今回新たに策定・公表



セルローステクニカルアプリケーションセンター ヨーロッパ (NISSO CTAC EU) 開設

当社は、医薬品添加剤「NISSO HPC」と「NISSO SSF」の新たな価値をお客様とともに共創するコラボレーション施設「セルローステクニカルアプリケーションセンター ヨーロッパ(NISSO CTAC EU)」を、当社の連結子会社であるNISSO CHEMICAL EUROPE GmbHの一部門として2025年2月1日に開設いたしました。

医薬品添加剤「NISSO HPC」は、主に固形製剤の結合剤として使用されており、錠剤の硬度を高める結合力や徐々に有効成分を放出する徐放性、溶け難い医薬品原薬の溶解性改善、および溶解した状態を維持するなど、さまざまな高い機能を有していることから、医薬品用途のみならず健康食品錠剤（サプリメント）などの食品分野における採用も拡大しております。また、錠剤を打錠する際に滑沢剤（粉末と臼杵との摩擦を低減する添加剤）として使用される「NISSO SSF」は、粒子が微細で粒度分布が狭く、優れた滑沢性や打錠成形性を有しており崩壊特性を向上させる機能も有していることから、「NISSO HPC」との併用による口腔内崩壊錠用途での採用が拡大しております。

当社は、2019年10月に「セルローステクニカルアプリケーションセンター(CTAC)」（千葉県市原市）を設立し、お客様のさまざまな目的やご要望に対して、「NISSO HPC」や「NISSO SSF」を使用した解決策の提案や製品開発支援など、お客様のニーズに合ったソリューションを提供することで、成長ドライバーであるヘルスケア分野の事業拡大に取り組んでまいりました。そして、2026年度に予定している「NISSO HPC」増産工事の竣工を見据えた海外展開の強化を目的として、今般NISSO CTAC EUを開設することといたしました。欧州市場（当面は米国、インド地域も含む）における普及活動の拠点として、CTACと連携しながら、よりきめ細やかでタイムリーなテクニカルサービスを提供することで、「NISSO HPC」や「NISSO SSF」のプレゼンスを高めてまいります。

当社グループは、長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」、ならびに中期経営計画「かがくで、かがやく。Stage II」において、高付加価値事業の拡大と農薬・医薬品添加剤を中心とした海外事業の推進により、事業収益力の向上を図ることとしております。NISSO CTAC EUの開設は、これらの取り組みの一環として、当社グループのさらなる企業価値の向上に貢献するものです。



日本曹達グループ公式キャラクター「そだまる」が誕生しました

私たち日本曹達グループは、1920年の創業以来、「化学のちから」で社会に貢献してきました。農業・医療・環境・情報など、多様な分野で新しい価値を創造し、一人ひとりが安心して暮らせる社会づくりに励んでいます。

これからも、私たちの想いや挑戦をもっと身近に感じていただきたい。そんな願いから、このたび、公式キャラクター「そだまる」が誕生しました。新しい仲間「そだまる」と一緒に、私たちの使命と夢を皆様と共有し、より豊かな未来の創造に向けて歩んでまいります。



「そだまる」
特設ページ

日本曹達公式ウェブサイトでは、「そだまる」の特設ページを開設しています。
そだまるの基本情報や動画などさまざまなコンテンツを掲載・更新してまいります。

<https://www.nippon-soda.co.jp/profile/sodamaru.html>

会社概要

創立	1920年2月1日
資本金	29,166,694,351円
従業員数	1,346名(嘱託社員・再雇用者を含む)
本社	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
工場	二本木工場、高岡工場、水島工場、千葉工場
営業所	札幌営業所、仙台営業所、関東営業所、大阪営業所、高岡営業所、福岡営業所
研究所	リサーチ&イノベーションセンター

株式の状況

発行可能株式総数	192,000,000株
発行済株式総数	56,787,734株
株主数	29,202名

※2024年10月1日付で株式分割（1株を2株に分割）を実施したため、2024年10月1日付で発行可能株式総数が192,000,000株、発行済株式総数が56,787,734株となっております。

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,691	13.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,410	8.00
日本専連取引先持株会	2,038	3.70
三井物産株式会社	2,030	3.68
農林中央金庫	1,769	3.21
株式会社みずほ銀行	1,633	2.96
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AG FUND 2024-09 (LIMITED OT FINANC IN RESALE RSTRCT)	1,050	1.90
損害保険ジャパン株式会社	912	1.65
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	881	1.60
東京海上日動火災保険株式会社	873	1.58

※持株比率は自己株式を控除して計算しています。

※当社は、自己株式1,621,602株（株式給付信託（J-ESOP）の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社株式85,848株を除く）を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

株式の所有者別構成比



※小数点第3位以下を四捨五入しています。

※自己株式は「個人・その他」に含めて記載しております。

グループ会社

連結子会社

●ケミカルマテリアル
ニッソーファイン株式会社

●アグリビジネス
新富士化成薬株式会社
株式会社ニッソーグリーン
NISSO AMERICA INC.

NISSO CHEMICAL EUROPE GmbH
日曹南海アグロ株式会社

●トレーディング&ロジスティクス
日曹商事株式会社
三和倉庫株式会社
三倉運輸株式会社

●エンジニアリング
日曹エンジニアリング株式会社
株式会社日曹建設

●エコソリューション
日曹金属化学株式会社

持分法適用関連会社

NOVUS INTERNATIONAL, INC.
IHARBRAS S/A. INDÚSTRIAS QUÍMICAS

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

特別口座の管理機関

●お問合せ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

●お取扱店 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告
(URL)<https://www.nippon-soda.co.jp/>
ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 4041



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



NIPPON SODA CO., LTD.